第２５期　国立市社会教育委員の会（第２４回定例会）会議要旨

令和７年４月２８日（月）

［参加者］小菅、生島、寺澤、矢野、桒畑、根岸、谷口、中田、大森

［事務局］井田、楠本、関

生島議長　では、定時を過ぎております。申し訳ありません。これから第２４回の定例会になります第２５期国立市社会教育委員の会、最後の回になりますけれども、開会させていただきます。

本日は加藤委員から欠席の御連絡をいただいていますが、定足数に達していますので、本日の会議を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の配付資料につきまして、事務局から御説明願います。

事務局　事務局からの配付資料の説明の前に、最終回ということなんですけれども、事務局の体制に変更がございましたので、紹介をさせていただきます。

４月１日付の人事異動で高橋が異動になりまして、代わりに関が着任いたしましたので、紹介させていただきます。

関主事　今日が初めてですが、また今後もお世話になる方、よろしくお願いいたします。

生島議長　よろしくお願いいたします。

事務局　ありがとうございます。

それでは、配付資料の御説明をさせていただきます。まず、皆様、机上の右側の議事録の山を御覧いただければと思います。一番上に議事録がございまして、その後、それぞれ、公民館だよりと、それから図書館月報、「いんふぉめーしょん」「オアシス」という形で資料のほうがあるかと思います。

議事録のほうに関しましては、皆様既に御確認を頂戴しておりますので、本日の配付をもちましてまた御確認いただきまして、また後日、市のホームページのほうに議事録をアップさせていただければというふうに考えてございます。

続きまして、向かって左側の資料の山を御確認いただければと思います。一番上に今回２４回定例会の次第が１枚。それから、２点目といたしまして、資料１－１という形で右肩に振ってございます答申案です。こちらが見え消しになってございます答申になります。それと、表紙が全く同じように見えるんですが、右肩１－２と振ってございます答申案、こちらが見え消しではなく修正を反映したものになってございます。続きまして、その下の令和７年度定期総会議案書ということで、都市社連協のほうの定期総会の議案書になってございます。

配付の資料に不足等ございましたらお申し出いただければと思うんですが、いかがでしょうか。よろしいようでしたら、こちらのほうで本日の御議論をお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

生島議長　ありがとうございます。

それでは、次第２の答申の決定ということに進めていきたいと思います。今事務局から御説明いただきましたとおり、お手元に配付されている資料１－１、それから１－２を御覧いただければと思います。

答申案につきまして、前回第２３回の定例会において、皆様方から体裁や内容について御意見を頂戴いたしました。今回、資料１－１のほうですけれども、前回の定例会で出た意見の修正に加えて、片仮名表記の修正であるとか、または文言の統一といった細かな文言の修正を行ってまいりました。最終的なものになりますので、改めて確認をいたしまして修正した点もございます。

本日は最終回で、ここで確定版というふうにしていきたいと思いますが、答申案の内容・体裁につきまして御意見を頂戴し、固めて完了というふうにしたいと思います。

今回ですけれども、これで皆さん方と集まって議論する会は最後ですので、この後、実際に答申を出すというところまでには数日ありますが、ここで合議して決着をしたいということにしております。ですので、具体的にここをこう直す、いいですかと言って確認を取って終わりにしたいと思いますので、その旨、明快に結論を出せるように御協力いただければとお願いいたします。

いかがでしょうか。何かお気づきの点などありましたら、御意見いただければと思いますが。どうぞ、どちらからでも結構です。

ちなみにですけれども、１－１のところを見ていただきますと、見え消しで修正しているところがあります。重ねての確認をいたしましたけれども、ちょっとニュアンスが違うとか直っていないというようなことでも結構かと思いますので、御確認ください。

いかがでしょうか。よろしそうでしょうか。

栗畑委員　１つだけ。

生島議長　栗畑委員、お願いいたします。

栗畑委員　事前に、前にもらったやつで気がついたことは修正されていたので、１つだけ。これ恐らくワードか何かで打っているんですよね。

事務局　ワードです。

栗畑委員　ワードですね。右上のこれは資料だから資料１－２と載っていますけれども、提出するのは、当然これはないですよね。そういった中で、どうしてもちょっとかっこ悪いなと思う。９ページ。「終わりに」だけタイトルでこう行くので、最後余っているので、「終わりに」はやっぱりこっちに持ってくる、１０ページの冒頭に持ってくるべきじゃないかなということを申します。

もっと言えば、ワードでばーっと詰めていくんだけれども、余ると思うので、５ページの下で、４で、ここタイトルと１行で入っていますよね。これも６ページに移しても……。でも、いいかな。どっちでもいいかなぐらいなんですけれども。ただ、「終わりに」だけちょっと、要は、構成上、レイアウト上の話でちょっと気になったということだけです。

生島議長　分かりました。ありがとうございます。見え方として、このままホームページにも上がったりしますよね。ですので、とても大事なところかなと。

栗畑委員　強いて言いえば、４ページの枠で囲っている一番最後、「くにたち郷土文化館」だけが乗っかって後ろに来るので、これもずらせるかなと思って、そうすると、最後って……。うーん。９ページがどうなのかなというのだけちょっと気になるかな。だけですね。

生島議長　ありがとうございます。

中身とか文言をすごく注意していたら、体裁のほうが気を落ちてしまったというようなところが。あと、見え消しのほうにしていたので、そこにちょっと目が行かなかったというところがあって。非常に大事な御指摘かと思います。

今の栗畑委員の御指摘を酌みつつ、最終的にもう一回確認したいと思うんですが。今の意を酌みますと、例えば、１ページ目の「はじめに」と「１」の間も、もう一行本当は空いていてもいいんですよね。だと思います。ここを開けると、３ページがもう一行多分下に下るんじゃないと思うんですよ。多分４ページの上には行かないんじゃないかと思うんですけれども、何とかそこで抑えて、そして、４ページの「くにたち郷土文化館」、一番下の行ですけれども、ここは一行空けて、次のページに繰り越すというふうなのがよろしいかなというふうに思います。

後ろに恐らく支障がなさそうなので、５ページの４というのも次のページに組み込んだほうがよろしいかなというふうに思います。

そこからずっと行きますと、８はここで終わるんじゃないかと思うんですけれども、９ページの「終わりに」というのを次のページの１０ページの頭に持ってくる。そして、この「終わりに」は恐らく太字になっていないかもしれないので、太字にするということで全体の書式の統一が図られるかなというふうに思います。

私もここは最終的に注意して提出版というふうにさせていただきたいと思いますが、修正する箇所というのは、今申し上げたとおり、配置、そして章、節の部分があまり中途半端なところで区切れないようにするというところで修正をさせていただければと思います。栗畑委員、とても大事なところ、ありがとうございました。

ほかにお気づきの点はありますでしょうか。よろしそうでしょうか。

事務局　事務局です。まず、栗畑委員、貴重な御指摘ありがとうございました。ここは事務局がしっかりしなければいけないところだったんですけれども。

大項目、「はじめに」と「１」ですとか、「１」と「２」の間は２行空けで、（１）と（２）の間は１行空けというところで統一させていただきまして、また、見出しが一番下ですとかに来るところは、次のページに改行を送ること、また、「終わりに」が太字になっていないところについては、責任を持って修正させていただければと思っております。

すいません。１点だけ気になったところがございまして、資料１－１のほうでちょっとお話しさせていただきますけれども。９ページで、下から３分の１ぐらいですかね、「レンタルコスト」というところを見え消しで「借用費」ということで修正いただいているところなんですけれども、我々の感覚ではあるんですが、「賃借料」という言い方のほうが……。役所言葉なのかどうなのか。すいません。そこは皆さんの感覚で御判断いただければと思うんですけれども。

我々からすると「賃借料」という言葉のほうがなじみが深くてですね。皆さんの感覚でどちらのほうが適切なのかというところをもう一度確認いただきますと幸いでございます。

生島議長　ありがとうございます。

事務局　すいません。すごく細かい点なんですが。

生島議長　「レンタルコスト」というふうなことを日本語に訳したところで、前回「借用費」というような言葉が出てきたんですが。これはたしか矢野委員……。

中田委員　私です。

生島議長　そうでしたか。中田委員。

中田委員　表現に何もこだわりませんので、なじみのある表現でいいんじゃないかと思います。

生島議長　分かりました。いかがでしょう。よろしそうですか。意味的には同じなんだけれども、よく行政の中で使われる言葉、行政に限らず、答申なのでもちろんこちらの言葉でもよろしいかと思いますけれども、しっかりと伝わるのであれば、今事務局のほうから御指摘いただいたほうに直してもよろしいかとも思いますけれども、よろしそうでしょうか。
　では、ここ「借用費」となっているところを「賃借費」というふうに修正を……。

事務局　賃借料。

生島議長　ごめんなさい。賃借料ですね。「賃借料」というふうに直させていただくということでお願いいたします。
　ほかはよろしいですか。事務局、お願いいたします。

事務局　もしよろしければ、事務局からもう一点、失礼したします。
　見え消しのほうの資料でまた申しますと、３ページになるんですけれども、３ページの最初の（１）の続きの文章の最後の段落のところで、最後の文章ですね。「事業の目的や内容次第では」のその次のところなんですが、「講師も含めた公開期間や公開範囲を協議の上で活用されることも期待される」という文章なんですが、少し文意が分かりやすく整えさせていただくと、「講師も含め、公開期間や公開範囲を協議した上で活用されることも期待される」といった形に分かりやすく変えられるかなというふうに思いましたので、ちょっと申し上げさせていただきました。
　以上です。

生島議長　ありがとうございます。事務局からほかにお気づきの点ありますか。もしあれば、まとめてと思ったんですが。

事務局　事務局からは以上２点でございます。

生島議長　ありがとうございます。
　３ページ目、（２）の上、１の一番最後の文章ですけれども、確かにこれちょっと分かりにくいですね。修正としては、講師も含め、公開期間や公開範囲を協議した上で活用されることを期待すると。「活用されることも期待される」というのもちょっと何か変な感じもします。「活用することも期待される」ですかね。「活用することも期待される」というふうに直せばすっきりするかなと思います。
　もう一度確認します。「講師も含め、公開期間や公開範囲を協議した上で活用することも期待される」というふうにさせていただければと思います。ありがとうございます。
　ほかに皆様方からいかがでしょうか。よろしそうですか。

では、いよいよこれで完成ということで、答申というふうにさせていただきたいと思います。この間、本当に細かいところまで御協力いただきまして、ありがとうございました。

ヒアリング調査から丸２年ですけれども、細かい文言のところまで含め、そして、特に片仮名用語が今回は多かったり、様々表現していることについて皆さん方と認識を整えていくというような作業もあり、そのプロセス自体が市民の目線だったりだとか共有していく学びというのになり、それをこの答申という形で整えていく、そして、またそれを開いていくということがいい形になればというふうに思っているところです。御協力いただきまして、ありがとうございました。

そうしましたら、次第２ですけれども、答申の決定というのはここまでにさせていただきたいと思います。

続きまして、次第３の事務局からの連絡事項に入ります。事務局からは、まず、４月１９日に開催された令和７年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会総会について説明をお願いいたします。

事務局　では、お手元の資料の中で、資料番号はないんですが、「令和７年度定期総会議案書」と上に書いてある資料を御覧ください。

４月１９日の土曜日に開催されました東京都市町村社会教育委員連絡協議会の定期総会ですけれども、当日は桒畑委員と中田委員に御出席いただきました。

配付資料の表紙の次第を御覧いただきたいんですけれども、最初に会長挨拶、来賓挨拶がございまして、その後、１枚めくっていただきまして、１ページに記載のある方々に東京都市町村社会教育委員連絡会表彰が行われました。

その後、議事に入りまして、議事内容、１ページ目、表紙に戻っていただいて、次第の６にございます議事内容について審議が行われまして、全て承認の運びとなりました。議事内容につきましては、配付の資料の２ページから９ページにございますので、後ほど御確認いただければと思っております。

また、定期総会の後ですけれども、研修会として、こちらも資料の表紙の一番下のところを御覧いただければと思うんですが、研修会としまして、鶴川サイエンスラボの池田裕幸さんに「ジュニア・サイエンスカフェ活動の立ち上げ　ｉｎ　町田－ある技術者の定年後の軌跡－」というテーマで御講演をいただきました。講演会の後半については、一般社団法人町田市地域活動サポートオフィスの喜田亮子さんも加わり、池田さんとトークセッション形式で話が進みました。

こちら資料がなかったので、内容はちょっと伝えづらいところなんですけれども、池田さん御自身は液晶ディスプレーの開発など技術者として会社勤めをされていらっしゃった方でございます。その池田さんが定年を迎えまして、技術者としての経験を生かし、科学の面白さを伝えるため、ボランティア活動として子供向けの科学教室を開催することを目指すというところでございます。

目指す上で、池田さんはまず現状分析を行って、それを踏まえて成功までのビジョンを立てて、そのビジョンに沿って、例えば、学校との調整であったりですとか、また、中学校の授業の内容とマッチするような講座内容の構築であったり、そんなことを行いまして、その結果、中学生向けの科学教室の実施に至りまして、昨年度の２０２４年度には４８０名もの参加者を集めるまでに至ったという内容でございまして、定年後のボランティア活動であったり社会教育活動の参考になるといったような内容でございました。

事務局からの報告は以上でございますけれども、御参加された委員の方々からも御感想をいただければと思っているところでございます。

以上でございます。

生島議長　ありがとうございました。
ただいま事務局より説明がありましたけれども、この総会及び講演会につきましては、国立市からは栗畑委員と中田委員に御出席いただいていたということで、いかがでしょう。お二方、それぞれ御感想などちょっと触れていただければと思いますが。中田委員、いかがでしょうか。

中田委員　まず、前半の総会なんですが、過半数が委任状ですので、絶対に可決される議事になっているんですね。やむを得ないかなと思いながらも、そんなふうに見ておりました。総会は極めてスムーズに行われたということです。
研修会は、今課長からお話があったとおりなんですが、極めて熟練した、そして意欲と能力のある方が、スタートアップ事業の補助金を獲得するにはどうすればいいのかみたいな話でとても面白く聞きましたが、社会教育として聞いてみた場合は、そういう属人的な個人の活動をいかに拾い上げて、それをつないでネットワークにしていくかがきっと社会教育及び社会教育行政の課題なんだろうなと思って聞いていました。
同様の感想を持った方はフロアのほうにもいたようで、かなり質問が出て、いい研修会だったんじゃないかなと思います。

生島議長　ありがとうございます。
栗畑委員、いかがでしょう。

栗畑委員　全くそのとおりでして、最後に言ったフロアのほうから出た質問は三鷹市の委員さんでして、三鷹は前から学校を中心に、これから学校は地域の社会教育、学びの場の拠点になるんだよということを盛んに言っていた方でして、また同じようなことを力説していたなというふうに感じました。
この総会の中でも、例えば、会長の挨拶の中で出たんですが、都市社協の理事会なんですけれども、やはりハイブリッドで開催しているそうです。また、最後の講演の中での池田さんという方も、今、町田市で１人なんですけれども、同じようなことをやろうとしている人がいて、そこと連携しながら、連携というかむしろ教えているみたいですけれども、仲間を増やしている。全てネットワークの構築かなというようなことを力説されておりました。
とにかく、私、この２年間、全ての総会とか研修会に参加したんですけれども、やはり方向性としては、これから社会教育の場所として、場所がなきゃいけないので、学校を使うしかないんじゃないか。とにかく社会教育と生涯学習と学校教育を一体にする、そのための人と人をつなぐコーディネーターというのは本当に大事なんだよということをおっしゃっていました。
最後に、この中の資料にないですけれども、一番後ろのほうに役員が輪番制となっていて、資料はないですが、たしか国立は、令和１０年、１１年が副会長職が回ってくるんですよね。

事務局　はい。

栗畑委員　そして、１２年は会長職をやらなきゃいけない。５年先ですから、その頃メンバーがどうなっているか分かりませんが、意外と大変だなということは、これから、要は、２６期からの、ましてや７期の方たちは、その辺が関わってくるのかなということを感じました。
以上でございます。

生島議長　ありがとうございます。
　先の見越し、見通しもあってのお気づきというところでいただきました。ありがとうございました。

栗畑委員　今の話はこっちの冊子を見ると分かる。これの一番後ろですね。７０ページに出てくるんです。
　以上です。

生島議長　ありがとうございました。
　事務局のほうからほかに何かありますでしょうか。

事務局　それでは、事務局のほうから、若干事務的な連絡も含めてなんですけれども。
　ただいまの栗畑委員のほうから御紹介をいただきました都市社連協の総会で配付された資料なんですけれども、「社会教育委員活動記録」という資料が配付されてございます。栗畑委員から今御発言いただきましたのがその７０ページです。この前表みたいなものがあります。そこの話を今いただいたところなんですが。
　こちらの社会教育委員の活動記録というのは、内容としては、各市町の活動、それから各ブロックの活動報告というのが載っていて、あとは交流大会とかそういった記録が掲載されている資料なんですが、こちらの資料は各市１０部ずつの配付ということで、余剰分もあまりないというふうに幹事市の町田市さんから伺っております。
　これまで、どうしても当市の社会教育委員の会の場合は、この４月、５月期の変わり目に当たってしまっているものですから、これまでの例によりまして、もしよろしければ、５月からの第２６期の委員の皆様にこちらのお預かりしているものをお渡しさせていただければというふうに考えてございます。
　ただ、今期２５期の今日いらっしゃる皆さんの中でもし必要な方、ちょっと確認したいというような方がいらっしゃいましたら、お申しつけいただけましたら、こちらの事務局のほうでコピーしましてお渡しできればというふうに思っておりますので、またお知らせいただけますと幸いです。
　事務局から連絡は以上でございます。

生島議長　ありがとうございました。
　よろしいですか。今年度の中には、国立がブロック研修会を音頭を取ってやったものの報告というのも入っているわけですよね。

事務局　はい、入っています。

生島議長　ですので、もしも必要ということであれば、御確認いただきたいということであれば、事務局のほうにお尋ねいただければと思います。
　この件に関してはよろしいでしょうか。では、ありがとう……。

事務局　事務局からもう一点、これも御連絡なんですけれども、今の都市社連協の件ではなくて、先ほど決定しました答申の件で１点御連絡をさせていただければと思います。
　今回皆様におまとめいただきました答申なんですが、教育長のほうに提出をする日程を組ませていただいておりまして、こちらの答申の提出、教育長に手渡しを具体的にするというような形を今考えているんですけれども、日程につ

きましては、議長、副議長の御都合を伺いまして、ゴールデンウイーク明け５月１３日の火曜日、ちょっと早いですが、午前９時半から予定をしてございます。こちらの教育長室のほうで手渡しをさせていただいて、その後、少し懇談するようなお時間を取らせていただければというふうに考えておるところなんですけれども。

こちら、第２５期の今日いらっしゃる委員の皆様で御都合つく方がもしいらっしゃいましたら、ぜひ御一緒にお渡しいただけるとよろしいかなというふうに考えておるんですけれども、そちらのほうはまた事務局のほうに、御参加いただける方がいらっしゃいましたら、御一報いただけましたら、人数のほうをちょっと調整させていただければというふうに思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

以上でございます。

生島議長　ありがとうございます。

今お話がありましたけれども、このように答申を教育長にというふうにやるのは、前回は少なくともなかったので、私としては今年初めて。特に矢野副議長が公運審のほうはそういったことというのが、教育長とあと市長との懇談というのを定期的に公運審のほうで持たれているので、社会教育委員のほうでもぜひしたらいいんじゃないかというようなこともずっと言われておりまして、ぜひにということで、算段を事務局のほうにお願いしていたということです。

そういう意味で、ぜひ皆さん方のこの議論の雰囲気であるとか熱も含めて、教育長さんに直接お届けできればというふうに思っておりますので、御都合つく方がいらっしゃいましたら御参加いただければというふうに思っているんですけれども。

ちょっとその前に、矢野副議長からも、公運審のほうの例でどういう雰囲気かというようなことも含めて御経験を少しお伝えいただければ、皆さん方も足がかりになるのかなというふうに思いましたので、お願いいたします。

矢野副議長　公運審では、職員体制の充実事と公民館長人事に関する要望書を提出して、提出後に懇談するというのが一般的です。今回は、市長が替わりましたので、新しい市長になっていきなり要望書を出すというよりも、まず、お互いの理解を深めていきたいということで、依頼文はお出ししましたけれども、要望書という形ではなくて、市長や教育長と職員体制を含めて公民館に関する様々な事項についてかなり自由に話し合ったということです。なので、今回は、答申提出に基づいてではありませんでした。

生島議長　ありがとうございます。

諮問をいただくときは、教育長さんお見えになっていただくんですけれども、私たちもせっかくつくったものなので、お届けをすればということで、このように公運審のほうでもされているということ。諮問・答申ではなくて、人事であったりだとか、または懇談というような形でされているというお話ですけれども、少しそれにならいつつも、きちんとお伝えできるようにということでしたいと思います。

事務局のほう、いつぐらいまでに御連絡をすれば、皆さん方よろしいでしょうか。

事務局　こちらとしましては、特に、ごめんなさい、人数のお話だけですので、あまりいつまでにというシビアが締切りは考えてございませんでしたので、前日の１２日月曜日までにでも御一報いただけますと幸いです。

生島議長　分かりました。では、５月１３日の９時半からということで。

生島議長　集合場所は。そうですね。

事務局　集合場所なんですけれども、提出の場所は教育長室でございますので、もし可能でしたら、生涯学習課の前に５分前の９時２５分ぐらいまでにお越しいただけますと大変ありがたいかなというふうに思います。

生島議長　３階でしたっけ。

事務局　３階。同じこの会議室の並びでございます。

生島議長　ということになりますので、よろしくお願いいたします。２５分ぐらいに生涯学習課のほうにお顔を出していただければということですね。

事務局　はい。また、その他何か今申し上げたことから変更がございましたら、また皆様のほうにメールで御案内させていただければと思いますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

生島議長　ありがとうございます。
　現段階でこの件に関しまして何か御質問などある方いらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。事務局、これでよろしいですか。

事務局　はい。

生島議長　ありがとうございます。
　それでは、今回の議事というのはここまでなんですけれども、今日が第２５期の国立市社会教育委員の最後の回になりますので、今期２年間、毎月１回このようにして会を重ねてきたわけですが、ぜひ御意見など委員の皆様方からいただいて、御意見、御感想などいただいて終わりにしたいというふうに思っております。ちょっとずつお話をいただければというふうに思っておりますけれども、よろしいでしょうか。
　私の手元では寺澤委員からというふうにあるんですけれども。せっかくなので、小菅委員からでもよろしいのかなというふうに思うんですが、よろしいですか。すいません。小菅委員から。１年ということでしたけれども、ぜひ御感想などを頂戴できればと思います。よろしくお願いいたします。

小菅委員　人事の関係で、一昨年は国立第三中学校の山口校長が、そして今年度は、今年度というか、令和６年度は小菅がということで務めさせていただきました。
　なかなか学校教育と違う部分が多くて、私自身の学びになりましたし、先ほども栗畑委員からありましたように、学校という現場が、子供がどんどん数が減っていく一方で、建物はあるわけで、社会教育と学校教育とがこれからどういうふうに連携をしていけば地域の核となるのかなということを考えながら過ごさせていただいておりました。
　何の役に立つかよく分からないですけれども、本当に皆様と出会うことができて大変よかったなというふうに思っております。
　４月１日より七小のほうに異動いたしまして、今度、谷口さんのところにまたお世話になるところですけれども、少しところ変わって、また違う角度から

国立市の社会教育を応援していきたいと思います。１年間ありがとうございました。

生島議長　ありがとうございました。
　では、寺澤委員、お願いいたします。

寺澤委員　この２年間、いろいろどうもありがとうございました。私もこういった経験は初めてだったので、いろいろなこと１つ１つがすごく学びになりました。答申は時々見かけてはいたんですが、こうやって作っていると知り実感として、皆さんすごいなと頭の下がる思いです。
　先ほど小菅委員もおっしゃっていましたが、栗畑委員がおっしゃってくれた生涯学習と社会教育を結んでというと、ＮＨＫ学園はまさに生涯学習も学校教育もやっていて、何か私たちにできることがあるのかなと考えさせられました。これをきっかけにいろいろなことを考えながらやっていきたいなと思っております。
　こういった機会をいただきましたこと、本当にどうもありがとうございました。

生島議長　ありがとうございました。
　では、栗畑委員、お願いいたします。

栗畑委員　国立市現スポーツ協会の選出の委員として、２期４年間この会に参加させていただきました。ただ、スポーツ協会からの選出なんですけれども、私自身、日常の活動は、もう２５年になるんですけれども、隣の第五小学校の育成会の関係。この辺、また学校評価委員もやっていたりとかそういうことで、どうしてもちょっとかぶってしまうこともあったかもしれませんけれども、国立市民、そして国立で子育てをした、そして、子供たちも成人しました、結婚もしました、私もサラリーマン、会社員を２年前に定年になって第２の人生というような中で、自分自身、地元で社会の一隅と言うとかっこいいですけれども、隅っこで具体的に日々子供たちと接しているので、非常に今回こういう役、委員をやって勉強になりました。
　特に２期４年間４８回、実は自慢するわけですじゃないですが、遅刻もせず、１回も休んでないんです。２２年の総会はハイブリッドで参加して、コロナウイルスが第５類になってから、２４年は、全ての総会とか交流会も参加させていただきました。
　かなりこれは本当に勉強になりまして、私自身も、同級生、もう辞めましたけれども、神奈川県で教育長をやっていた者がいたりしまして、そういうのでいろいろ会って話することもあったものですから、いろいろな意味で、この会のお役に立ったかどうかは別にしましても、自分自身これからも活動の中には大変参考になる、また、身につけてそれを何とか実践、これからも勉強しなきゃなと思っています。
　この後、私、スポーツ協会のローテーションと言ったら変なんですけれども、２期４年で君はやめなさいと言われましたので、後任が来月からは来ます。なかなか頑張り屋さんなので、またこの会にちょうど本当に活躍してくれるかなというふうに私は思っています。ですから、来月からは、実はスポーツ協会も今度役員改選期なんですけれども、取りあえず、現状の役職のまま私は引き続き留任する予定ですので、スポーツを通じて国立市の社会教育の一翼を担っていきたいなと思っています。
　最後に、「オアシス」のこれですね。講演会じゃないですけれども、これはフ

ファミリーフェスティバルと言いまして、小学生を中心に幼児まで対象にした毎年やっているイベントです。強いては、フェスティバル、お祭りです。皆様にはあまり興味ないかもしれませんけれども、でも、小っちゃい子は非常に喜んで参加してくれている。スタンプの数だけで言う延べ人数だと５，０００人ぐらい。我々スポーツ協会も、合計延べ数２００人弱の体制でこの当日役員派遣、お手伝いしております。準備期間も約半年かけて、体育館の館長さんはじめ職員と打合せをしてきて、いよいよもう５日に迫りました。前日から準備します。

最後に、皆様御承知だと思いますけれども、会場、ＦＳＸアリーナとなっています。実は国立市もやっと企業の冠を、ネーミング、ＦＳＸさんというのは国立の企業さんです。初代さんもスポーツ協会のよき理解者でよく知っているんですけれども、隣の芸小ホールもＦＳＸホールという名前になりましたので、ぜひぜひ、我々もこれからは総合体育館と言わずにＦＳＸアリーナ（国立総合体育館）というようなことで文章も案内させていただいています。

宣伝になりましたけれども、ぜひこういうイベントもやっていますよということを御紹介させていただきました。

以上です。どうも、４年間ありがとうございました。

生島議長　ありがとうございました。

では、谷口委員、お願いいたします。

谷口委員　２年間どうもありがとうございました。私も初めてこういうふうな会議に出席させていただいて、最後、去年の１２月から具合が悪くなってお休みもしなきゃならなかったりとかして、本当にお役にも立たない、ただここへ来て座って難しい話を聞いて帰るという感じだったんですけれども。

今日、この資料がパソコンで入っていましたので、そうだと思って、これを全部パソコンで音読したんです。そうしましたら、非常によく分かりやすいなというふうに、自分たちが何を話してきたのかがよく分かっていて、なるほど、こういうことを私たちは話を――私たちはというか、私はここの場に参加していたんだということがよく分かりました。ありがたく感謝いたします。ありがとうございます。

１つは、自分が言った言葉が文章になって後で返ってきますよね。いかに私がぐずぐずと分かりにくく、何だか自分でもよく分かっていないような発言の仕方をしていたかというのが、あれを読むと本当にがっかりしてしまって、何とかあの辺は改善していきたいと強く思っております。

私も２年で、民生委員のほうの代表でおりましたけれども、代表が替わりますので、来月からはタシロさんという方、男性になりますが、新しく参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

生島議長　ありがとうございました。

では、根岸委員、お願いいたします。

根岸委員　まず、議長、皆様、本当に２年間お疲れさまでした。最後、こういうきれいな形でまとまって、本当によかったです。ありがとうございます。

先ほど栗畑委員が言っていたファミリーフェスティバルですが、私も以前、よく焼きそばを焼いて。

栗畑委員　一緒にやっていたんです。

根岸委員　ちょっと体を壊してからしばらくやっていなかったんですが、去年からまた復活して、今年は駄菓子売場にいますので、もし来られる方がいましたらお声がけください。

今回のテーマはＩＣＴの活用ということで２年間やってきたわけですが、会議の中でもいろいろお話がありましたが、コロナウイルスがあって急速にＩＣＴというのが進んだというのは私も非常に実感しています。

ちょうどコロナウイルスの頃は、まだ私も会社に勤めていまして、会社の場合は、もともとコロナウイルスに頃になる前から、いろいろな手続はパソコンでウェブ上でやるというふうになっていましたので、そんなに、割とすんなりと皆さんに受け入れられた。ただし、もちろん、パソコンとかスマホとかそういうのを全社員に配付するというのがありましたけれども、それがあれば割と素直にできて、ウェブ会議とか在宅勤務というのも結構スムーズに移行したんです。

そういう頭がちょっとあって、今回、いろいろな施設の方にヒアリングした結果、そうでもないんだなと。まだまだ、掛け声はあっても、まだ準備が整っていないところが結構あるんだなというのをすごく気がつきました。

私も前ちょっと言ったと思いますが、家の近くの福祉館なんかでも、ずっとＷｉ－Ｆｉを入れてほしいという申請を出しているんですが、なかなか進まない。その辺も、早くこういう環境が整っていけば、皆さんも結構そういうところに接することができるんだろうなと思います。

あと、スマホは結構皆さん使っていますね。お年寄りでも。スマホでＬＩＮＥなんかのグループなんかは結構やっているんですが、パソコンとなるとちょっと敷居が高いようで、なかなか使える方がいないのかなと。特にいろいろなそういうウェブ講座なんかになると、やっぱりパソコンが必須だと思いますので、なかなかスマホだけだと、打合せなんかはできますけれども、そういう講座なんかを受けるにはちょっと難しいのかなと思って、そんなことを考えていました。

これからその辺をどう考えていくか。これからも引き続き、いろいろ考えていかなきゃいけないんだろうなというふうに思いました。

以上です。ありがとうございました。

生島議長　ありがとうございました。

では、大森委員、お願いいたします。

大森委員　今から３か月前なんですけれども、阪神・淡路大震災から３０年がたったんです。その中で見えてきたことがありまして。例えば、１０歳のときにお友達を亡くした子供が、ずっと災害と向き合う機会を持てなくて、二十数年たってやっと少し向き合えた。そういう意味でいうと、学習の機会というのは本当に重要で、ここ東京も３・１１のときに避難をしてきた方がたくさんいらっしゃって、国立も含めて、それが今１４年ですけれども、それから、直近のコロナウイルスでも、本当に心の傷を受けて、それを今も抱えている方たちがいると思うんです。

そういう意味で、学習の機会をきちんと保障していくというのは本当に大きなことで、その問題の大きさに対応した拙速に流れない議論ができたことは大変ありがたいことだなというふうに思います。

大変お世話になりました。

生島議長　ありがとうございました。

では、中田委員、お願いいたします。

中田委員　社会教育委員の場は２度目なんですが、以前はもう随分前でしたので、当時はこういう議事録もありませんでしたし、答申作成で随分ばたばたしたなという感想を持っているんです。それに比べると今回は本当に計画的にというか、ゆとりを持って答申をつくることができたんじゃないだろうか。

どうしても文案の作成の負担は議長に集中する仕組みになってしまってはいましたが、いい形で作業を進めることができたんじゃないかなと思ってはいます。

都市社連協の総会の資料とかもありますし、研修会とかでほかの自治体の方々と話をするときに思うんですけれども、毎月定例会をやっているところはあまりなくて、月１回というペースでやっているということは結構大事なんだろうなと振り返ってみて思いました。今後もこういう形で続いていけばいいんじゃないかなと思っています。

どうもありがとうございました。

生島議長　ありがとうございました。

では、矢野副議長、お願いいたします。

矢野副議長　私も栗畑委員と同じ２期４年間務めさせていただきました。その間、公民館運営審議会委員もしていますので、第２週は公民館、第４週は社会教育委員の会に出席というのをずっと４年間続けて、全部で９６回中、栗畑委員は全回出席とおっしゃっていましたが、私は１回だけ欠席があって９５回です。公運審と合わせての回数ですね。出席率は学校に行っていたときよりいいんじゃないかと思いますけれども。

社会教育委員の会は、毎月開催するというのはもちろん、公民館運営審議会と一緒で特色ですが、事前課題を委員の皆様全員に書いていただくというのはもう一つの大きな特色だと思います。今回は答申とブロック研修会と両方ありましたが、皆さんが全員書いてくださって、そこから始まるというのは、これはすごいことだと思います。

通常は学識経験者の方がある程度まとめた上で議論しますが、委員の皆様のご意見から始めるというのは、非常に手間のかかる作業なんですけれども、それは議長と事務局が努力していただいて、皆さんの意見を集約しつつ１つにまとめてくださいました。。それは委員の皆様も協力をされているからできることですけれども、これはなかなかできないことだと思うんですよね。ほかではあまり聞いたことないので、本当にすばらしい会だなと思っておりますし、非常に勉強になりました。

ちなみに、公民館運営審議会の委員長もしていまして、それはまだ続けていますので、社会教育委員の会の皆様にもまたお願いするようなこともあるかと思いますので、今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。

生島議長　ありがとうございました。

最後に、私からも一言だけというふうに思いますけれども。まずは、２年間、拙い司会でしたが、御協力いただきまして、本当にありがとうございました。

今年度、今期に関しましては、今皆さん方からお話いただいた答申、ＩＣＴに関する答申というのをまとめてきたというようなところで、先ほど決定ということに落ち着いて、ちょっとほっとしたなというふうに思っております。

それとともに、今期の２期では非常に特徴的だったのは、ブロック研修会を担ったというところもあったかと思います。先ほど中田委員からもお話がありましたけれども、月に１回顔を合わせて、その中で研修会も今回の大事な私た

ちの仕事だというようなことで、練り上げてくるそのプロセスで、我々の国立市であるとか周辺のことを学び、そして、近隣自治体とともにそれを共有していく機会というのを設けられたことというのは、今期の１つの社会教育委員の会議の中でも大きな出来事だったのではないかなというふうに思っています。

この会場が本当に狭く感じるぐらい人が集まって、そして、すごく印象的だったのは、今日の研修会を楽しかったというふうに、明るい気持ちになったというふうにそれぞれの参加者が答えてくださったというようなことは、とてもやりがいがあったなということ、そして、皆さん方とそれを一緒に練り上げられて、また輪が広がったような感じがありまして、非常に印象でありました。

諮問を受けての答申であるとか、これらブロック研修会もありまして、国立市の社会教育の状況も我々も共有しながら、そしてまた、それを発信していくということになろうかと思いますけれども、引き続き、共に学び合う場になっていけばいいなというふうに思っております。

今後も、何かまたお目にかかったり一緒にやる機会があろうかと思いますけれども、ぜひよろしくお願いいたします。本当に２年間御協力いただきまして、そして、学び合う場を共有できまして、本当にありがとうございました。お疲れさまでございました。

そうしましたら、よろしいですか。今日は加藤委員もいらっしゃらなくてちょっと残念だったんですけれども、何か言い残されている方がいらっしゃればですが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

事務局のほうからは何かありますか。

事務局　事務局としてはないですけれども、今日御欠席の加藤委員からも、大変お世話になりましたと、今日御参加できないこと、どうしても外せないということがありまして、非常に残念に思われている旨のメールを頂戴しましたので、ちょっと簡単に御紹介させていただきます。ありがとうございます。

生島議長　ありがとうございました。

そうしましたら、本日予定しておりました案件は全て終わりました。以上をもちまして、第２５期の社会教育委員の会、全て終了となります。皆様、本当にありがとうございました。お疲れさまでございました。

――　了　――